

地域自然史と保全

Bulletin of Kansai Organization for Nature Conservation

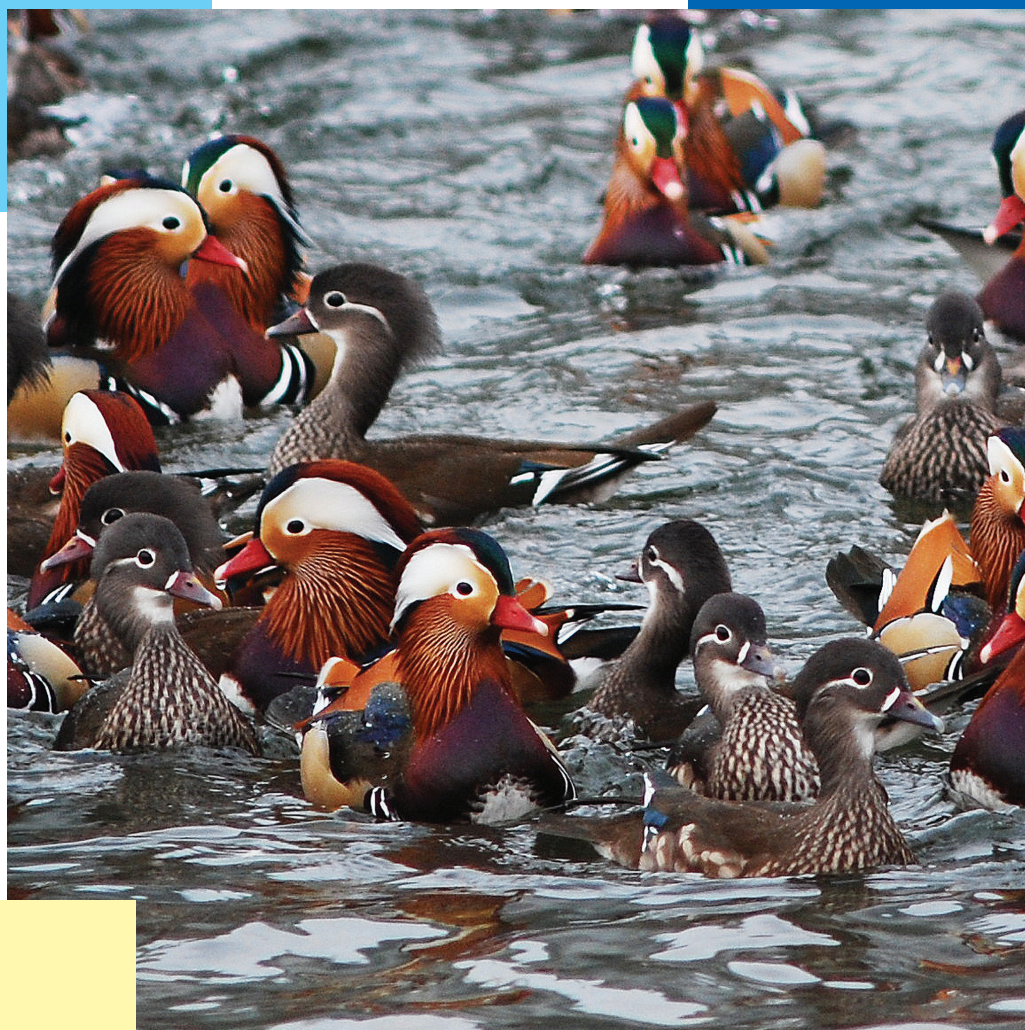
特集1 鳥の渡りと生物多様性の保全

特集2 シンポジウム「大阪府のレッドリスト改訂について」

Volume 36

Number 1

June 2014



関西自然保護機構

Kansai Organization for Nature Conservation

表 紙 の 言 葉

越冬中のオシドリの群れ

写真・文 樋口 広芳

オシドリは日本で一年中見られるが、季節によって国内を局地移動する。春から夏にかけての繁殖期には、山間の溪流沿いの森林にすみ、秋から冬には、近隣あるいは遠く離れた湖沼や河川に移動する。一部は国外からも渡来してきていると思われる。雄は目がさめるような美しい色、雌は全体に黒褐色の地味な色をしている。雄にはイチョウの葉によく似た飾り羽がある。ドングリ類を好んで食べる。樹洞で営巣し、ひなはそこから跳び降りて巣立ちする。写真は鳥取県日野郡で撮影。

写真：2011年12月22日撮影

関西自然保護機構（KONC：Kansai Organization for Nature Conservation）

KONCは自然環境保護にかかわる人たちや関心を持つ人たちを幅広く組織して、自然環境保全に関する各分野での研究を結集し、その研究の進歩と自然環境の保護・保全のために努力することをめざして、1978年に創立されました。

KONCはその活動の成果と、会員個々人の学識と経験の蓄積にもとづいて、近畿地方に於ける広い意味での自然保護の諸問題に対する有力なアドバイザー・ボディ（助言勧告機関）として、社会の要請にこたえることを企画しています。

現在、次のような活動をしています。

1. 基礎研究の実施
2. シンポジウム・セミナー・講演会などの開催
3. 現地見学会の開催
4. 研究助成金の交付
5. 会誌・連絡紙の発行
6. 自然保護に関する基礎資料の収集と配付
7. 自然保護および自然環境保全に関する提言と助言
8. 国内外の諸団体との連絡・協力

会の活動は、個人会員・維持会員の会費により、まかなわれています。